



総研大ニューズレター

第52号 2012.9 発行

●目次

【今月のトピックス】 「JSPS サマー・プログラム 報告会・送別会 開催 学務課」
「第2回学融合セミナー 開催報告 学融合推進センター」

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

8月20日～9月13日 天文科学専攻サマースチューデントプログラム
(夏の体験研究)

9月28日 学位記授与式

10月2日～4日 専門基礎力涵養集中講座「総研大精選講義」
『古典力学概論』

10月11日 入学式

10月11日～12日 学生セミナー

10月14日 日本歴史研究専攻 大学院秋季説明会

10月14日 地域文化学専攻・比較文化学専攻 オープンキャンパス

10月20日 日本文学研究専攻 入試説明会

10月21日～22日 文化科学研究科 学術フォーラム2012

【今月のトピックス】

● 『JSPS サマー・プログラム 報告会・送別会』が開催されました

JSPS サマー・プログラムで、アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・カナダ5ヶ国から来日した108名の若手研究者（フェロー）が、全国各地の受入機関での2ヶ月間の研究活動を終え、8月21日、東京に一堂に会しました。ホテルグランドパレスで行われた報告会では、各国の学術機関から選ばれた6名の代表者による研究発表がなされました。それぞれの発表者は、自分の研究成果と日本で体験したことについて、バランスよくまとめ、この2ヶ月間で彼らが体験したことや、研究活動について垣間見ることが出来ました。発表後は研究分野を超えて、活発な質疑応答が行われ、生物学のフェローの発表の際には、日本学術振興会の浅島理事からも質問が出るなど、熱心な学術交流が見られました。



その後の送別会には、受入機関の研究者や、6月のオリエンテーションで素晴らしい箏の演奏をしてくださった安藤政輝先生にもご参加頂き、総勢170名が参加する日本滞在の締め括りにふさわしい盛大な会となりました。会場のあちらこちらで、再会を喜び合うフェロー達や、研究活動について熱心に話し込む姿が見られ、この2ヶ月間の日本での様々な体験を通して大きく成長したフェローの姿にJSPS サマー・プログラムの意義を感じることができました。



今年の送別会では、昨年のサマー・プログラムで総研大に滞在し、その後日本学術振興会の JSPS Postdoctoral Fellowship (Short-term) for North American and European Researchers (欧米短期) で本学 先端科学研究科で研究活動中の John EIMES さんより体験談のプレゼンテーションがあり、フェロー達は、サマー・プログラムに参加してアメリカに帰国後、研究活動を再開するために JSPS の別のプログラムで再来日した EIMES さんの体験談に熱心に聞き入っていました。

今回のサマー・プログラムで本学及び基盤機関に配属されたフェロー達から感想を寄せてもらいました。

Ben J. DRYER (BC : 総研大物理科学研究科 / オープンユニバーシティ 物理科学)

“What is the most impressed thing in this program”

国際色豊かな研究者達とともに研究活動をしなが、自分の所属している研究機関と受入機関が、将来的に共同研究できるような関係を強化することができたことが非常によかったと思います。

“About the orientation programs organized by Sokendai”

全てのプログラムは有意義でとても楽しかったです。時間配分もよく考えられていたので、他のフェローと交流する時間も持て、その間培った他のフェローとの関係は、オリエンテーション終了後も大変有効なものとなりました。

“Short message about this summer programs”

オリエンテーションプログラムは非常に楽しく、また日本での研究生活を送るにあたり、とても有効でした。私と自分の所属する研究機関にとって、JAXA のような国際的な研究機関で研究活動をし、素晴らしい関係を構築出来たことは、かけがえのない体験となりました。日本と何らかの関係を構築したい、日本文化を体験したい、と考える全ての人たちにこのプログラムを勧めたいと思います。



Rachael TOMASINO (NSF : 総研大 物理科学研究科 / デンバー大学 天体物理学)

“How was your research through this program”

日本での生活と仕事のバランスを取るのが難しく、研究活動は最初は大変でした。日本でやりたいこと、見たいことがあまりにも多すぎたのだと思います。終わりに近づくにつれ、だんだんと日本での生活に慣れ、研究活動に集中できるようになりました。

“About the orientation program”

日本語の授業はとても効果的でしたが、語学の学習が苦手な私にとっては、トピックが多すぎて大変でした。日本文化紹介は有益で、とても楽しいものでした。

“About the home stay program”

ホームステイはとても楽しかったです。夏の間にもう一度ホストファミリーの家に泊まりに行く予定でしたが、研究活動が忙しく、結局行けませんでした。

“Short message about this summer programs”

研究室から出て、日本の素晴らしいところを探してみてください。本当に価値があります。

【文責 学務課】

● 第二回学融合セミナー開催報告

「映像にみる人間の生活と文化－映像人類学の研究課題について」

文化人類学（民族学）とは、世界各地の民族・社会集団の生活・行動様式を文化の視点から総合的に捉え、そこにみられる特殊性と普遍性を比較研究することにより、人間とはなにかを問う学問です。フィールドワーク（特定の民族集団に長期間参入し、日々の生活を調査、記録すること）と民族誌（調査に基づく報告書、研究論文）の作成は、文化人類学の学問的アイデンティティとなっています。

そして、文化人類学と同じ時代に生まれたもの、それが映画でした。文化人類学と映画は19世紀半ばから後半にかけて体系化が進められ、同じ時代精神を背景に多くの問題を共有することになります。そして、その交点は第二次大戦後、映像人類学という学問として確立されます。現在、映像人類学は、文化人類学と映像研究が交差するところに現れる、広範な領域をめぐる理論と実践の学問へと成長しました。

今回のセミナーでは、最初に、映像人類学、及び、その基礎をなす文化人類学と映画学・映像学は、実際にどのような学問であるのかについて説明し、その後、東南アジア島嶼部におけるフィールドワーク経験、及び、総研大における学術映像教育について述べました。そして、インドネシアのバリ島で自ら制作した学術映像作品（世界無形遺産にも指定されている影絵芝居ワヤン・クリを継承する老人の生活誌を主題とした人類学映画）を上映し、参加者の方々と意見交換をおこないました。



インドネシアのバリ島にて
影絵芝居を継承する達人（左）
と撮影調査する筆者（右）

【文責 学融合推進センター 助教 村尾静二】

【各種募集】現在公募中の情報

事 項	応募期間	提 出 先
国立天文台滞在型研究員	随時 (滞在希望初日の前月 1 日まで)	国立天文台研究支援係
http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/kouryuu/koubo/h24taizai.html		
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 学融合推進センター事務係
http://cpis.soken.ac.jp/htdocs/?page_id=68		

【イベント情報】

● 総研大の行事

9 月

日程	時間	行事名	場所
8 月 20 日(月) -9 月 13 日(木)		天文学専攻サマースチューデントプログラム (夏の体験研究)	三鷹・野辺山・水沢・ハ ワイ
28 日(金)	14:40-17:30	学位記授与式	総研大葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/news_all/2604.html			

10 月

日程	時間	行事名	場所
2 日(火) -4 日(木)		専門基礎力涵養集中講座 「総研大精選講義」 『古典力学概論』	総研大葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/news_all/2550.html			
11 日(木)		入学式	総研大葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/news_all/2599.html			
11 日(木) -12 日(金)		学生セミナー	総研大葉山キャンパス
http://www.soken.ac.jp/news_all/2599.html			
14 日(日)	13:00-16:00	日本歴史研究専攻 大学院秋季説明会	国立歴史民俗博物館
14 日(日)	13:00-17:00	地域文化学専攻・比較文化学専攻 オープンキャンパス	国立民族学博物館 2 階
http://www.minpaku.ac.jp/research/education/university/apply/opencampus			
20 日(土)	13:00-17:00	日本文学研究専攻 入試説明会	国文学研究資料館
http://www.nijl.ac.jp/~kyodo/soken.files/enter/seminar.html			
21 日(日) -22 日(月)		文化科学研究科 学術交流フォーラム 2012	国立歴史民俗博物館
http://www.initiative.soken.ac.jp/katudou/forum.html			

11月

日程	時間	行事名	場所
2日(金)	15:00-17:30	統計科学専攻 大学院説明会	統計数理研究所
	http://www.ism.ac.jp/senkou/		
3日(土・祝)	10:00-12:00	第14回先導科学研究科 学術講演会	総研大葉山キャンパス 共通棟2階 講義室
10日(土)	12:20-17:00	生命共生体進化学専攻 専攻説明会	秋葉原UDXカンファレンス
20日(火) -22日(木)		専門基礎力涵養集中講座 「総研大精選講義」 『量子力学概論』	総研大葉山キャンパス
	http://www.soken.ac.jp/news_all/2550.html		

● 基盤機関の行事

9月

日程	時間	行事名	場所
7月10日(火) -9月2日(日)	9:30-16:00	企画展示 楽器は語る —紀州藩主徳川治宝と君子の楽—	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html		
7月10日(火) -9月2日(日)	9:30-16:00	<新収資料の公開>南都楽人辻家の文書	国立歴史民俗博物館
7月31日(火) -9月2日(日)	9:30-16:00	くらしの植物苑特別企画「伝統の朝顔」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/plant_now.html		
9月6日(木)		公開セミナー「スペイン領アメリカの集住政策」	教皇庁立ペルーカトリカ 大学(ペルー) 主催:国立民族学博物館
2日(日)		研究公演「神への祈りと喜びの舞曲—パツハから バルトークへ—」	国立民族学博物館
2日(日)	9:00-16:30	平成24年度KEK一般公開	高エネルギー加速器研 究機構
	http://openhouse.kek.jp/		
8日(土)	13:00-15:00	第345回歴博講演会 「考古学・人類学からみた縄文人の生と死」	国立歴史民俗博物館
8日(土)	13:00-16:00	能代ロケット実験場 開設50周年記念シンポジウム 『宇宙につながるまち能代』	能代市文化会館 大ホ ール 主催:宇宙科学研究所
8日(土) -9日(日)	10:00-16:00	能代ロケット実験場特別公開	宇宙科学研究所 能代ロケット実験場
9日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第268回 「インドネシアの市場(いちば)と商人」	国立民族学博物館

11日(火)	14:00-16:00	第259回日文研フォーラム 「中国文化への誘い—漢字からのアプローチ—」	ハートピア京都 大会議室
http://www.nichibun.ac.jp/event/index.html			
9月13日(木) -11月27日(火)	10:00-17:00 (入館は 16:30まで)	特別展「世界の織機と織物—織って！みて！ 織りのカラクリ大発見」	国立民族学博物館 特別展示館・1Fエントラ ンスホール
14日(金)	13:30-16:30	日文研・地球研合同シンポジウム 『文化・環境は誰のもの？』	国際日本文化研究セン ター内講堂 (日文研ホール)
http://www.nichibun.ac.jp/event/index.html			
15日(土)	13:00-17:00	第85回歴博フォーラム『江戸』の発見と商品化— 大正期の三越の流行創出と受容—	国立歴史民俗博物館
15日(土)	13:30-15:00	特別展「世界の織機と織物—織って！みて！ 織りのカラクリ大発見」関連 第412回みんなくゼミナール「手仕事への回帰」	国立民族学博物館 講堂
16日(日)	13:30-15:15	講演会「ラジオパーソナリティと館長が歩いた南 の島々—イースター島からサタウル島まで」	国立民族学博物館 講堂
22日 (土・祝)	13:30-15:30	第162回くらしの植物苑観察会 『日本竹譜』とその著者片山直人	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
22日 (土・祝)	13:30-16:30	みんなく映画会／ みんなくワールドシネマ「君を想って海をゆく」	国立民族学博物館
22日(土・祝) -24日(月)		現代インド地域研究 2012年度 現代インド・南アジアセミナー	国立民族学博物館
23日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第269回 「南アジアの衣装と文様表現」	国立民族学博物館
9月27日(木) -11月27日(火)		企画展「記憶をつなぐ—津波災害と文化遺産」	国立民族学博物館 企画展示場A
29日(土)	10:00-17:00	日本のエネルギーは大丈夫か？ ～ $E=mc^2$ は人類を滅ぼすのか、救うのか…～	吹上ホール(名古屋) メインホール 主催： 自然科学研究機構
http://www.nins.jp/public_information/sympo13.html			
30日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第270回 「東南アジアの織機と織物」	国立民族学博物館

10月

日程	時間	行事名	場所
6日(土)	13:30-15:30	第16回歴博映画の会 「千葉の民俗芸能—祭囃子と神楽—」	国立歴史民俗博物館

7日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第271回「アイヌの織物」	国立民族学博物館
13日(土)	13:00-17:00	第346回歴博講演会 「『自然』に寄り添い、生きる」	国立歴史民俗博物館
14日(日)		研究公演「遠い記憶、呼びさます声 ーダナンマル家の南インド古典声楽」	国立民族学博物館
14日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第272回 「ベトナム、黒タイの機織り文化」	国立民族学博物館
10月16日(火) -12月9日(日)	9:30-16:00	行列にみる近世-武士と異国と祭礼と-	国立歴史民俗博物館
20日(土)	9:30-16:00	オープンキャンパス ここまで来たぞ核融合ー最前線を知ろうー	核融合科学研究所
20日(土)	10:30-17:00	歴博映像フォーラム7 「祭りと熱狂ー信仰と造形ー 『長崎くんち』『比婆荒神神楽』」	新宿明治安田生命ホール 主催:国立歴史民俗博物館
20日(土)	13:30-15:00	特別展「世界の織機と織物ー織って!みて! 織りのカラクリ大発見」関連 第413回みんなくゼミナール 「バントウの人びとのラフィア織り」	国立民族学博物館
21日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第273回 「見方を発見ー染織資料と出会ってみよう」	国立民族学博物館
26日(金)	18:30-20:30	公開講演会「だから人類は地球を歩いた ー太平洋へアメリカへ」	日経ホール(東京) 主催:国立民族学博物館 ・日本経済新聞社
27日(土)	13:30-15:30	第163回くらしの植物苑観察会 「洛中洛外図にみえる植物」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
28日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第274回 「中南米の織機と織物」	国立民族学博物館

11月

日程	時間	行事名	場所
3日(土)	10:00-17:10	国際ワークショップ「アジアの布と生きる」	国立民族学博物館
4日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第275回 「アフリカの織物とプリント布」	国立民族学博物館
11月6日(火) -12月2日(日)	9:30-16:00	総合展示 伝統の古典菊	国立歴史民俗博物館
11月6日(火) -12月2日(日)	9:30-16:00	伝統の古典菊	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑

10日(土)	13:00-15:00	第347回歴博講演会「近世祭礼図にみる行列」	国立歴史民俗博物館
11日(日)	10:00-17:00	国際シンポジウム「ヒーリング・オルタナティブスーケアと養生の文化」	国立民族学博物館
11日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第276回 「オセアニアの織物」	国立民族学博物館
16日(金) -17日(土)	16日 10:30-19:00 17日 10:00-18:30	国際シンポジウム 「大規模災害とコミュニティの再生」	国立民族学博物館
17日(土)	13:30-15:00	特別展「世界の織機と織物—織って！みて！ 織りのカラクリ大発見」関連 第414回みんなくゼミナール 「東南アジアの織機と衣装」	国立民族学博物館
24日(土)	13:30-15:30	第164回くらしの植物苑観察会「菊花のかたち」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
25日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第277回 「ヤギ毛の繊維利用について」	国立民族学博物館

【教員の受賞情報等】

物理科学研究科

天文学専攻

○大須賀健 助教

著書『ゼロからわかるブラックホール』 第28回講談社科学出版賞 受賞

複合科学研究科

情報学専攻

○ティム・バーンズ 助教ら

ICAP 2012において EPL Prize (Best Poster Award) 受賞

生命科学研究科

遺伝学専攻

○森本充 助教

“FASEB Science Research Conferences: The Lung Epithelium in Health & Disease”
において Jo Rae Wright Award (ベストプレゼンテーション賞) 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター52号をお届けします。

6月下旬から鳴いていたニイニイゼミは姿を見せなくなり、ヒグラシ、アブラゼミ、ミンミンゼミと鳴きだしていましたが、ここ葉山キャンパスにもついにクマゼミが現れるようになりました。地球温暖化の影響で北上を続けている話は聞いたことがありましたが、いつごろから現れるようになったのでしょうか。

最近は秋を告げるツクツクボウシが鳴き始めています。とはいえ、まだまだ残暑が厳しいと思われるので、皆さま、こまめに水分・塩分をとるようにしましょう。



葉山キャンパス ツクツクボウシ♂

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2012年9月5日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

広報室（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1632

©2012 SOKENDAI